

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等
1 診療計画及び診療に関する重点事項						
(1) 診療計画						
	日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センター（以下、「酒田医療センター」という。）は、将来にわたり持続可能な経営に向けて努力するとともに、地域医療向上のために以下のような取組みを行った。					
①日本海総合病院						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療支援病院として、安全で高度かつ専門的な急性期医療を提供する。 ・他の医療機関と連携して、住民が安心できる地域の医療提供体制を構築する。 ・庄内地域で唯一の救命救急センターとして、高度な救急医療を提供する。 ・地域がん診療連携拠点病院として、充実したがん治療を提供する。 ・災害拠点病院として、被災地域の患者の受入れ、及び医療スタッフの派遣等の医療救護活動を行う。 ・へき地医療拠点病院として、へき地の住民に対する医療提供及びその支援等へき地医療活動を行う。 ・エイズ治療拠点病院として、総合的かつ高度なエイズ治療を提供する。 	<p>地域の中核病院として急性期医療の充実に努め、地域医療支援病院をはじめとする各種指定の病院機能を十分に発揮し、「安心、信頼、高度な医療提供」及び「保健、医療、福祉の地域連携」の基本理念に基づいた医療の提供に努めた。</p> <p>日本海総合病院の機能 規模：646床 診療科：25科（内科、循環器内科、消化器内科、内視鏡内科、精神科、神経内科、小児科、外科、乳腺外科、小児外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、皮膚科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、救急科） 病床の種別：一般病床 併設診療機能：救命救急センター、屋上ヘリポート設置 特殊診療機能：ICU（集中治療室）、HCU（準集中治療室）、未熟児室、感染症病床、放射線治療、外来がん化学療法、セカンドオピニオン外来、緩和ケア、人工透析、地域医療室（地域連携、在宅療養支援など） 救急外来機能：診療科全般 その他：病院間移動用ワゴン車、院内保育所</p>	◇急性期医療を提供する、地域の中核病院としての役割を果たしたか。	S	▽年間6,000件超の手術を実施し、平均在院日数が11.5日、救急搬送の受入れ件数が3,515件、また紹介率が62.2%、逆紹介率が47.2%であり、地域における機能分担が進み、急性期医療を担う中核病院としての役割を果たしている。	S	自己評定のとおり手術件数が年間6,000件超の実績は高く評価する。
②酒田医療センター						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のニーズに応じ、療養及び回復期医療を提供する。 ・回復期リハビリテーションの一層の充実に取り組む。 ・通所リハビリテーションに取組み、患者のQOL維持・向上に寄与する。 	<p>急性期病院での治療が終了し、自宅退院や施設入所が困難な患者及び積極的なリハビリテーションを必要とする患者への医療の提供を行った。地域の課題であった通所リハビリテーション（デイケア）の提供を開始し、患者のQOL維持・向上に努めた。</p> <p>酒田医療センターの機能 規模：114床 診療科：2科（内科、リハビリテーション科） 病床の種別：療養病床 特殊診療機能：地域医療室（地域連携・在宅療養支援など）、通所リハビリテーション（デイケア） その他：病院間移動用ワゴン車</p>	◇地域のニーズに応じ、療養及び回復期医療を提供するとともに、通所リハビリテーションの提供を開始したか。	A	▽療養病床の利用率が82.3%、回復期リハビリテーション病床の利用率が92.2%であり、地域のニーズにしている。また、地域の課題であった通所リハビリテーションを開始した。	A	自己評定のとおり
(2) 診療に関する重点事項						
①診療体制の整備						
	医療需要の質的・量的変化や新たな医療課題に適切に対応するため、平成25年度は、次のとおり診療部門の充実を図った。					

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評価		委員会評価及び意見等
			判定	自己評価	
a) 救急医療					
・救命科専門医の育成等、体制の充実について検討を行う。	○救命救急センターの機能の充実を図るため、新たに救命科専門医の育成に取り組んだ。	◇救命専門医の育成に取り組んだか。	A	▽救命科専門医の認定を受けるため、日本海総合病院の麻酔科の医師を救命救急センター（日本救急医学会救命科専門医指定施設）に異動させ、研修を受けさせている。	A 自己評価のとおり
・酒田地区広域行政組合の酒田救急ワークステーションとの連携強化を図り、ドクターカーの配備について継続して検討を行う。	○ドクターカーの配備を検討するため、酒田地区広域行政組合の「酒田救急ワークステーション」との連携強化を図り、当該組合の要請によって医師及び看護師が救急車に同乗・出動した。 【H25実績】救急車同乗・出動件数 5件 【H24実績】救急車同乗・出動件数 3件	◇「酒田救急ワークステーション」と連携し、継続してドクターカー配備の検討を行ったか。	A	▽5件の出動要請があり、医師及び看護師が救急車に同乗して出動した。また、問題点等を把握するため、今後も継続して検討することとした。	A 自己評価のとおり
・関係機関と共同で、ヘリポートでの患者受け入れ訓練を行う。	○山形県ドクターヘリ、酒田市及び飛鳥診療所と共同で、患者搬送訓練を行った。	◇ヘリポートでの患者受け入れ訓練を行い、その後、実際の患者搬送はスムーズに行われたか。	A	▽ヘリポートでの患者受け入れ訓練にとどまらず、山形県ドクターヘリ、酒田市及び飛鳥診療所と、連絡経路の確認を含めた総合的な患者搬送訓練を行った。その後、飛鳥診療所から5件の搬送があったが、スムーズに対応することができた。	A 自己評価のとおり
・社団法人酒田地区医師会十全堂（以下、「酒田地区医師会」という。）の協力を得て、平日夜間の成人・小児に対する診療体制を、酒田市の財政支援のもと維持する。	○より症状の重い患者に救命救急センターの医師が対応できるよう、一般社団法人酒田地区医師会十全堂（以下、「酒田地区医師会」という。）の協力により小児を含む平日夜間救急外来が、酒田市の財政支援のもとに継続して行われた。 【H25実績】救命救急センター受診状況 延べ患者数 24,653名 うち酒田地区医師会による診療支援 小児延べ患者数 639名 成人延べ患者数 1,582名 【H24実績】救命救急センター受診状況 延べ患者数 23,979名 うち酒田地区医師会による診療支援 小児延べ患者数 743名 成人延べ患者数 1,715名	◇酒田地区医師会の協力により、継続して診療支援が行われ、救急医療の充実を図ることができたか。	S	▽酒田地区医師会の協力を得て、役割分担を行うことにより、日本海総合病院の医師は症状の重い患者の診療に専念することができ、地域の救急医療の充実が図られている。	S 自己評価のとおり
b) がん医療					
・地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	○地域がん診療連携拠点病院として、さらに機能の充実を図るため、緩和ケア病棟若しくは病床を設置し、又は緩和医療科の開設について検討を開始した。 ○「相談支援センター相談員基礎研修（3）」を受講した、がん相談員を5名体制（看護師3名、社会福祉士2名）とし、がん相談支援体制の充実を図った。 【H25実績】がん相談件数 1,204件 【H24実績】がん相談件数 818件	◇地域がん診療連携拠点病院として、診療機能の充実に取り組んだか。	S	▽地域がん診療連携拠点病院の指定要件で求められている5つの診療機能うち、緩和ケアの提供体制について、さらに充実したケアの提供を図ろうとしている。緩和ケア担当医師への主治医変更を試験的に行いながら、緩和ケア病棟等の導入を検討している。 ▽社会福祉士をがん相談員として養成したことにより、さらに相談支援体制の充実を図ることができた。	S 自己評価のとおり 今後、がん相談支援体制について、サイコロジの医師の活用や患者満足度の評価視点の取入を検討されたい。
・PET-CTによるがん治療の強化、早期発見のための検診を拡充する。	○PET-CTの稼動状況は、次のとおりであった。 【H25実績】検査件数 811件 （うち検診件数）（186件） 【H24実績】検査件数 442件 （うち検診件数）（22件）	◇診療における検査件数及び検診件数が増加したか。	A	▽年間の検査件数が811件（うち検診は186件）となり、導入した平成24年度と比較して369件（うち検診は164件）増加し、がん治療の強化及び早期発見に資することができた。	A 自己評価のとおり
・手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療の実施	○手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせ治療を実施した。 【H25実績】手術件数 1,117件 放射線療法 7,928件 外来化学療法 4,922件 【H24実績】手術件数 1,123件 放射線療法 7,793件 外来化学療法 3,092件	◇手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療が行われたか。	A	▽患者の状態にあった最適ながん治療を行った。	A 自己評価のとおり
・緩和ケア医療の充実	○緩和ケア医療の充実に取り組んだ。 【H25実績】病棟回診延べ患者数 449名 緩和ケア外来患者数 168名 【H24実績】病棟回診延べ患者数 367名 緩和ケア外来患者数 105名	◇緩和ケア医療の提供体制の充実が図られたか。	A	▽緩和ケア認定看護師を1名増員し2名体制とし、そのうち1名を病棟に配置してケア提供の充実を図った。	A 自己評価のとおり
・セカンドオピニオン外来の充実	○セカンドオピニオン外来の充実に取り組んだ。 【H25実績】実施件数 11件（がん10件） 【H24実績】実施件数 4件（がん3件）	◇セカンドオピニオン外来の充実に取り組んだか。	A	▽専門医の認定を受けた医師及びがん相談員又は緩和ケア認定看護師の資格を有する看護師が、懇切丁寧な説明と相談にあたった。	A 自己評価のとおり

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評定		委員会評定及び意見等
			判定		
・院内がん登録機能、相談支援体制の充実	○地域がん診療連携拠点病院として、次のとおりがん登録を行った。 【H25実績】院内がん登録 1,705件 地域がん登録 1,680件 【H24実績】院内がん登録 1,684件 地域がん登録 1,653件	◇地域がん診療連携拠点病院として、がん登録を行っているか。 ◇相談支援体制の充実が図られたか。	A	▽地域がん診療連携拠点病院として「院内がん登録」を行うとともに、「地域がん登録」に積極的に協力した。 ▽研修を修了した「がん相談員」を5名体制（看護師3名、社会福祉士2名）とし、相談支援体制の充実を図った。	A 自己評定のとおりに
c) 脳卒中・急性心筋梗塞					
・救命救急センターと関係する各診療科、リハビリテーション部門との連携強化を図り、患者の社会復帰に寄与する。	○患者の社会復帰に資するため、救命救急センターと関係する各診療科、リハビリテーション部門との連携強化を図った。	◇各診療科及びリハビリテーション部門が連携して治療を行ったか。	A	▽急性期医療の充実により、速やかに薬物治療又はカテーテル治療などの処置を行い、社会復帰に向けたリハビリテーションに、早期に取り組むことができた。	A 自己評定のとおりに
・CT、MRI検査の24時間対応の継続	○専門的医療やCT、MRI検査の24時間対応を継続した。 【H25実績】脳梗塞、くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血で実施した件数 CT 934件 MRI 929件 【H24実績】脳梗塞、くも膜下出血、脳動脈瘤、脳内出血で実施した件数 CT 1,015件 MRI 819件 【H25実績】心筋梗塞、狭心症で実施した件数 CT 265件 MRI 31件 【H24実績】心筋梗塞、狭心症で実施した件数 CT 255件 MRI 40件	◇継続して24時間対応を行い、その後の治療に適切に対応することができたか。	A	▽緊急治療又は手術など、適切に対応することができた。	A 自己評定のとおりに
・日本海総合病院における急性期リハビリテーションの充実及び酒田医療センターにおける回復期リハビリテーションとの連携強化を図る。	○日本海総合病院では急性期リハビリテーションの充実を図り、酒田医療センターの回復期リハビリテーションとの連携強化を図った。 【H25実績】心大血管疾患リハビリテーション料1 日本海総合病院：実患者数 534名 回数(単位数) 12,453回 【H24実績】心大血管疾患リハビリテーション料1 日本海総合病院：実患者数 422名 回数(単位数) 9,196回 【H25実績】脳血管疾患リハビリテーション料1 日本海総合病院：実患者数 1,400名 回数(単位数) 43,956回 酒田医療センター：実患者数 269名 回数(単位数) 48,761回 【H24実績】脳血管疾患リハビリテーション料1 日本海総合病院：実患者数 1,303名 回数(単位数) 44,118回 酒田医療センター：実患者数 243名 回数(単位数) 40,963回	◇平成24年度と比較して、心大血管疾患リハビリテーション及び脳血管疾患リハビリテーションが増加したか。	A	▽日本海総合病院の心大血管疾患リハビリテーションは、患者数、回数が増加し、1人当たりの回数も増加した。 ▽脳血管疾患リハビリテーションは、日本海総合病院での回数が減、酒田医療センターでは回数が増加したことから、連携強化が図られた。	A 自己評定のとおりに 今後、急性期・回復期リハビリテーションの診療報酬加算についても検討されたい。
d) 糖尿病（日本海総合病院）					
・チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた集学的治療の充実	○チーム医療による食事療法、運動療法、薬物療法等を組み合わせた教育入院等の治療を行った。 【H25実績】教育入院患者数 52名 【H24実績】教育入院患者数 83名 【H25実績】個別栄養指導件数 579件 (入院 252件 外来 327件) 【H24実績】個別栄養指導件数 575件 (入院 239件 外来 336件) ○糖尿病教室を14回開催し、44名の参加があった。 ○看護師と管理栄養士が共同で、25名（実患者数）の患者に対して延べ55回の糖尿病透析予防指導を行った。 ○人工透析患者の増加に伴い、3床増設した。	◇チーム医療による糖尿病治療が行われたか。	A	▽血糖値コントロールのための自己注射の必要性、糖尿病による合併症併発の危険性、予防などについて、それぞれの職種が、それぞれの分野から患者にアプローチして治療が行われた。	A 自己評定のとおりに
e) 回復期リハビリテーション（酒田医療センター）					
・回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士等を増員する。	○回復期リハビリテーションの充実のため、理学療法士を1名、作業療法士を2名、言語聴覚士を1名それぞれ増員し17名体制とした。	◇理学療法士等を増員し、リハビリテーションの充実が図られたか。	A	▽17名体制としたことで、提供できるリハビリの単位数も増加し、充実が図られた。	A 自己評定のとおりに

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評価		委員会評価及び意見等
			判定	自己評価	
・ドライブシステムを導入し、社会復帰に必要な動作の評価・測定を行い、より効果的なリハビリテーションを行う。	○ドライブシステム（運転機能評価システム）を導入し、より効果的なリハビリテーションを行った。	◇患者の状態に合わせて、より効果的なリハビリテーションを行ったか。	A	▽システムを導入したことで患者の状態を評価・測定することができ、より効果的なリハビリテーションを提供することができた。	A 自己評価のとおり
・通所リハビリテーションを新たに運用し、1日あたり4～5名を見込み、年間で延べ800名の利用を目標とする。	○平成25年6月から、通所リハビリテーション（デイケア）を開始した。 【H25実績】リハビリテーション科の延べ患者数 入院 11,776名 外来 392名 【H24実績】リハビリテーション科の延べ患者数 入院 11,366名 外来 120名 【H25実績】リハビリテーションの実施状況 外来リハビリテーション：実患者数 18名 回数（単位数） 498回 通所リハビリテーション：実患者数 20名 回数（単位数） 1,040回 【H24実績】リハビリテーションの実施状況 外来リハビリテーション：実患者数 9名 回数（単位数） 299回 ※「通所リハビリテーション」の「回数（単位数）」は、利用者の通所回数である。	◇通所リハビリテーションを開始し、年間延べ利用者数が目標の800名を達成することができたか。	S	▽6月から開始し、延べ利用者数が1,000人を超え、目標を達成することができた。	S 自己評価のとおり
f) 在宅医療支援及び療養支援					
・地域の介護機関・福祉機関・医療機関との連携を強化するため相談窓口機能の充実を図る。	○日本海総合病院では、地域医療室及び医療連携室の看護師7名又は社会福祉士3名が、地域の介護・福祉・医療機関及び患者との退院調整業務を行った。 ○酒田医療センターは看護師2名体制で、退院調整及び入院前面談等を実施した。 【H25実績】退院調整 日本海総合病院 合計 1,931件 酒田医療センター 合計 330件 【H24実績】退院調整 日本海総合病院 合計 1,906件 酒田医療センター 合計 289件 【H25実績】酒田医療センター： 入院前面談件数 496件 うち入院患者数 471件 【H24実績】酒田医療センター： 入院前面談件数 397件 うち入院患者数 377件	◇退院調整又は入院前面談が効率的に行われ、シームレスなサービス提供に努めたか。	A	▽日本海総合病院では、相談窓口機能の充実及び効率化によって、より多くの患者の退院調整を行い、シームレスなサービス提供に努めた。 ▽酒田医療センターでは、2名体制で効率的に、より多くの患者の退院調整及び入院前面談を行い、シームレスなサービス提供に努めた。	A 自己評価のとおり
・急性増悪による入院の受入れなど、在宅患者及び介護・福祉機関の患者に対して、かかりつけ医と連携して医療支援を行う。	○在宅患者及び介護・福祉施設の入所者に対して、かかりつけ医と連携して医療支援を行った。	◇在宅又は施設入所の患者に対して、かかりつけ医と連携して医療支援を行ったか。	A	▽「ちょうかいネット」を介して、連携強化を図り、医療支援を行った。	A 自己評価のとおり
・酒田地区医師会訪問看護ステーション「スワン」との連携の強化を図る。	○酒田地区医師会十全堂訪問看護ステーション「スワン」と、在宅医療の連携強化を図った。	◇連携強化を図った結果、「ちょうかいネット」への登録患者数が増加したか。	A	▽訪問看護ステーション「スワン」を利用する患者の「ちょうかいネット」への登録数が、平成24年度は15件であったのに対し、平成25年度は33件であり、18人増加した。	A 自己評価のとおり
g) その他					
・両病院間の患者移動について、「げんき号」の効率的な運行について検討する。	○日本海総合病院と酒田医療センターの両病院間を患者が移動するため、「げんき号」を定期便の他、必要に応じて臨時便を運行した。 【H25実績】利用実績 延べ乗車人数 3,975名 乗車率 12.7% 【H24実績】利用実績 延べ乗車人数 4,057名 乗車率 12.9%	◇「げんき号」の効率的な運行について検討を行ったか。	B	▽「げんき号」の利用状況等について現状把握を行ったが、効率的な運行の検討までには至らなかった。 しかし、患者の利便性を確保するため、必要に応じて臨時便を運行した。	A 「効率的な運行」ではなく、患者の「利便性のための運行」を考慮して評価する。
②災害時や健康危機における医療協力（日本海総合病院）					
・災害発生時には、災害拠点病院として患者を受け入れるとともに、県の要請に基づき、又は自ら必要と認めるときは、DMAT（災害派遣医療チーム）等、医療スタッフを現地に派遣して医療救護活動を行う。	○平成25年11月21日に発生した、秋田県由利本荘市矢島町における工事現場土砂崩れにより、山形県からDMATへの待機要請があった。しかし、秋田県から山形県に対しての派遣要請がなかったため、待機は解除され出動はしなかった。	◇要請に応じて、速やかに出動できる態勢を整えたか。	A	▽山形県からDMATへの待機要請を受けて、メンバーを招集し、資機材を準備し、速やかに出動態勢を整えた。	A 自己評価のとおり

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評価		委員会評価及び意見等	
			判定		判定	
・地域が被災した場合に備え、酒田市が実施する「酒田市総合防災訓練」に参加する。	○他の機関が実施した災害医療訓練又は研修に、次とおり参加した。 【H25実績】災害医療訓練及び研修の状況 災害医療訓練：9回、延べ47名参加 【H24実績】災害医療訓練及び研修の状況 災害医療訓練：12回、延べ42名参加	◇他の機関が実施する災害医療訓練又は研修に参加したか。	A	▽DMAT隊員を訓練又は研修に参加させ、隊員の技能向上を図った。また、地域の防災訓練に参加することで、地域での役割、他の機関との連携を確認し、地域の災害対策の向上に寄与した。	A	自己評価のとおり
・航空機事故に備え、山形県が実施する「庄内空港消火救難訓練」に参加する。	○他の機関が実施した研修に、インストラクターを派遣した。 【H25実績】インストラクター派遣 災害医療研修：2回、計7名派遣					
・地域の医療従事者を対象とした災害医療研修を実施する。	○災害対策委員会が主体となって、日本海総合病院全職員、委託業者及び地域の医療従事者を対象に、災害医療研修を次のとおり実施した。 【H25実績】災害医療研修の実施状況 災害医療研修：6回、延べ587名参加 【H24実績】災害医療研修の実施状況 災害医療研修：6回、延べ729名参加	◇日本海総合病院の職員だけでなく、地域の医療従事者等を含めて訓練又は研修を実施したか。	A	▽災害拠点病院としての責務を果たすため、関係機関の協力と参加を得ながら、地域が被災した場合を想定して独自の訓練を実施した。	A	自己評価のとおり
・小型非常用発電装置、医薬品、診療材料、飲料水などを備蓄する。	○災害発生時に備え、災害医療対策用機器等を整備した。 ○災害発生時に備え、職員用の食糧等を備蓄した。	◇災害医療対策用機器の整備及び食糧等の備蓄を行ったか。	A	▽災害対策用医療機器等を整備又は備蓄することで、DMATの医療活動及び災害拠点病院の機能の充実を図った。	A	自己評価のとおり
・非常用発電機の燃料や医薬品等の優先納入体制の整備を図る。	○災害時においても、優先納入できることを条件として物品購入契約を締結し、体制の整備を図った。	◇継続して優先納入体制を維持できたか。	A	▽契約書に条件を明記して、災害時における物品の優先納入体制を維持した。	A	自己評価のとおり
・新型インフルエンザをはじめ新たな感染症が発生したときは、山形県と連携して対応する。	○新たな感染症が発生した場合は、感染対策委員会を中心に情報収集を行い、山形県をはじめ他の関係機関と連携し、患者の受け入れを行う。	◇新たな感染症などが発生した場合に、関係機関と連携して患者を受け入れることができるか。	A	▽感染対策委員会を中心に、常に情報収集を行い、患者を受け入れられる体制を維持した。	A	自己評価のとおり
③政策医療の実施（日本海総合病院）						
・高度専門医療について、ハイブリッド手術室の整備にともない、国の定める先進医療である「経カテーテル大動脈弁留置術」を導入する。	○ハイブリッド手術室の整備を行い、平成25年8月から稼働した。	◇早期に整備し、稼働させることができたか。	A	▽平成25年8月から稼働し、循環器内科のペースメーカー移植術も、より衛生的な環境で実施している。	A	自己評価のとおり
・第二種感染症指定医療機関として、速やかな感染症患者の受け入れのためマニュアルの見直しを行う。	○速やかな感染症患者の受け入れのため、院内感染対策指針及び感染対策マニュアルの見直しを行った。また、感染対策の意識向上を図るため、主に職員を対象に研修会を実施した。 【H25実績】感染対策研修会 開催回数 2回 参加人数 249名	◇感染症患者を、速やかに受け入れられる体制を維持しているか。	A	▽感染対策マニュアルの更新、研修会を通して情報の共有を図り、患者受け入れ体制を維持した。	A	自己評価のとおり
・認知症疾患医療センターを運営し、認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等について継続して実施していく。	○「認知症疾患医療センター」を運営し、引続き認知症疾患患者の専門医療相談、鑑別診断等を行った。 【H25実績】新規相談件数 733件 継続相談件数 416件 【H24実績】新規相談件数 789件 継続相談件数 286件	◇「認知症疾患医療センター」としての役割を果たしたか。	A	▽相談件数が増加していることから、「認知症疾患医療センター」としての役割を果たしている。	A	自己評価のとおり
・臓器移植について、提供施設として訓練を行う。	○平成26年2月22日に開催した、公益財団法人山形県臓器移植推進機構及び山形県が主催の研修会において、脳死下臓器提供シミュレーションを実施した。	◇訓練を行い、関係機関との連携の強化を図ったか。	A	▽事例が発生した場合に備え、関係機関それぞれの役割を確認し、連携の強化を図った。	A	自己評価のとおり

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	判定	委員会評定及び意見等
④医療スタッフの確保及び資質向上						
a) 医療人材の確保・育成						
<p>・山形大学との臨床実習協定によりスチューデントドクターを受け入れ、医学生の教育及び医師育成の一翼を担う。</p> <p>・臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医をいう。)の受け入れ拡大に努め、教育研修体制の充実を図る。</p>	<p>○医学生の教育及び医師育成のため、臨床研修医、レジデント及びスチューデントドクター等を受入れた。</p> <p>【H25実績】臨床研修医 17名 レジデント 23名 スチューデントドクター 44名 臨床医学修練生 1名 地域医療実習生 4名</p> <p>【H24実績】臨床研修医 13名 レジデント 16名 スチューデントドクター 16名 臨床医学修練生 1名 地域医療実習生 4名</p> <p>○医師及び看護師以外の医療従事者をめざす学生について、薬剤部で1名、リハビリテーション室(科)で計16名、栄養管理室で2名、医事課で1名、大学又は専門学校等から合計20名の実習生を受入れた。</p>	<p>◇継続して医学生の教育及び医師育成に取り組んだか。また、医師及び医学生以外の医療従事者の育成に取り組んだか。</p>	S	<p>▽臨床研修医及びレジデントの受入れだけでなく、山形大学との協定によりスチューデントドクターを、東北大学から臨床医学修練及び地域医療実習の医学生を、平成24年度に引続き受入れ育成に取り組んだ。また、その他の医療従事者についても学生を受入れ、その育成に取り組んだ。</p>	S	<p>自己評定のとおり臨床研修医及びレジデント、スチューデントドクター等の受け入れ、医学生の教育と医師育成の取組みについて、高く評価する。今後、スチューデントドクターの受入れ増についても検討されたい。</p>
<p>・がん性疼痛看護、がん放射線療法看護、摂食・嚥下障害看護及び集中ケアの認定看護師の資格を取得するため、看護師4人を研修に派遣する。</p>	<p>○より質の高い看護を提供するため、研修会を実施した。</p> <p>【H25実績】5回、延べ174名 【H24実績】5回、延べ179名</p> <p>○4名の看護師が、緩和ケア認定看護師、感染管理認定看護師、脳卒中リハビリテーション認定看護師及び慢性心不全看護認定看護師の資格を取得した。</p> <p>○集中ケア認定看護師及び手術看護認定看護師の資格を新たに取得するため、2名の看護師を研修に派遣した。</p>	<p>◇より質の高い看護を提供するため、研修等を通じて専門知識の習得及び技能の向上を図ったか。</p>	A	<p>▽院外講師を招聘し、研修会を開催し専門技能等の向上を図った。 ▽平成24年度に研修を済ませた看護師4名が、認定看護師の資格を取得した。 ▽看護師2名を、認定看護師の養成のため研修に派遣した。</p>	A	<p>自己評定のとおり引き続き、認定看護師について、各分野の適正な所属配置について配慮されたい。</p>
<p>・薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し専門技能の向上を図る。</p>	<p>○薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の技術職について、研修等を充実し、専門技能の向上を図った。</p>	<p>◇研修等に参加させ、専門知識の習得及び技能の向上を図ったか。</p>	A	<p>▽学会、研修会等に参加し、専門技能の向上を図った。</p>	A	<p>自己評定のとおり</p>
b) 事務職員の確保と専門性の向上						
<p>・他病院との合同研修会及び交流を通して、人材育成と専門性の向上を図る。</p>	<p>○医療法人健友会 本間病院及び庄内医療生協 鶴岡協立病院の事務職員と、平成26年2月14日に合同活動発表会を開催し、事務職員の知識の習得と専門性の向上を図った。</p>	<p>◇合同活動発表会を通じて、知識の習得と専門性の向上を図ることができたか。</p>	A	<p>▽他病院と情報交換を行うことで、それぞれの病院が抱える課題、持っているノウハウを得ることができた。</p>	A	<p>自己評定のとおり</p>
<p>・医師事務作業補助者の資質向上を図る。</p>	<p>○外部講師による研修会を開催し、医師事務作業補助者の専門知識の習得と資質向上を図った。</p> <p>【平成25実績】2回、計 223名参加</p>	<p>◇研修会を開催し、専門知識の習得と資質の向上を図ったか。</p>	A	<p>▽診療報酬に関する研修会だけでなく、各部門が開催する勉強会にも積極的に参加させ、資質の向上を図った。</p>	A	<p>自己評定のとおり</p>
⑤医療サービスの効果的な提供						
a) 地域連携の推進						
<p>・日本海総合病院は、庄内地域の中核的な医療機関及び地域医療支援病院としての役割を果たし、紹介率60%以上、逆紹介率30%以上を目標とし、他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図る。</p>	<p>○日本海総合病院は、庄内地域の中核的な医療機関及び地域医療支援病院としての役割を果たすとともに、他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図った。</p> <p>【H25実績】日本海総合病院：紹介率 62.2% 逆紹介率 47.2%</p> <p>【H24実績】日本海総合病院：紹介率 61.5% 逆紹介率 45.2%</p> <p>※「地域医療支援病院」の算出方法による。</p>	<p>◇他の医療機関との役割分担及び連携の強化が図られたか。</p>	S	<p>▽継続して、地域医療支援病院の要件である紹介率、逆紹介率を達成することができた。他の医療機関との役割分担及び連携の強化が図られている。</p>	S	<p>自己評定のとおり</p>
<p>・地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取組の強化等により、医療から介護・福祉へとシームレスなサービスの提供に努める。</p>	<p>○地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取組の強化等により、医療から介護・福祉へとシームレスなサービスの提供に努めた。</p>	<p>◇介護・福祉機関へとシームレスなサービスの提供に努めたか。</p>	A	<p>▽介護・福祉機関との連携の強化と、充実した退院支援体制により、医療から介護・福祉へとシームレスにサービスを提供することができた。</p>	A	<p>自己評定のとおり</p>

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評価	委員会評価及び意見等
b) ITネットワークの活用（「ちょうかいネット」の活用推進）				
<p>・平成23年度から稼働している「ちょうかいネット」について、利用医療機関等の拡大を図る。</p>	<p>○平成23年4月から稼働した「ちょうかいネット」について、利用する医療機関等の拡大を図った。 【平成26年3月31日現在の状況】 利用施設数 合計 109施設 登録患者数 合計 11,335名 【平成25年3月31日現在の状況】 利用施設数 合計 92施設 登録患者数 合計 6,669名</p>	<p>◇利用医療機関等を拡大するとともに、登録患者数が増加しているか。</p>	<p>S ▽利用施設数が増加するとともに、新たに「もがみネット」と接続したことによりエリアも拡大した。登録患者数も順調に増加している状況であり、地域における医療のネットワーク化及びその拡大に寄与している。</p>	<p>S 自己評価のとおり</p>
c) 地域連携クリティカルパスの活用				
<p>・大腿骨頸部骨折、5大がん、脳卒中の地域連携クリティカルパスの適用件数増加を図る。</p>	<p>○大腿骨頸部骨折、5大がん、脳卒中の地域連携クリティカルパスの適用件数の増加に努めた。 【H25実績】地域連携クリティカルパス適用件数 肺がん：0件 大腸がん：19件 肝がん：0件 乳がん：18件 胃がん：27件 大腿骨頸部骨折：118件 脳卒中：290件 【H24実績】地域連携クリティカルパス適用件数 肺がん：0件 大腸がん：13件 肝がん：0件 乳がん：24件 胃がん：9件 大腿骨頸部骨折：105件 脳卒中：92件</p>	<p>◇地域連携パスの適用が、継続して推進され、患者負担の軽減に寄与しているか。</p>	<p>A ▽地域連携クリティカルパスの全体適用件数が、平成24年度と比較して大幅に増加していることから、患者負担の軽減に寄与している。また、他の医療機関との機能分担にも寄与している。</p>	<p>A 自己評価のとおり</p>
<p>・急性心筋梗塞及び糖尿病パスの導入について検討を行う。</p>	<p>○心臓リハビリを中心とした循環器病診療連携クリティカルパスの作成に取り組んだ。 ○前立腺がんの地域連携クリティカルパスを稼働させた。 ○糖尿病教育入院の院内クリティカルパスを稼働させた。</p>	<p>◇新たな地域連携パスが導入され、稼働したか。</p>	<p>S ▽新たに2つの地域連携パスと、院内パスを稼働させ、効率的な医療の提供に努めた。</p>	<p>S 自己評価のとおり</p>
⑥ 庄内地域における医療水準の向上				
<p>・庄内地域の他の医療機関と交流を行い、連携強化を図る。</p>	<p>○日本海総合病院は、庄内地域で唯一の認知症疾患医療センターとして、庄内地区の医療従事者、自治体の高齢者事業担当者及び地域包括支援センター相談担当者を対象に、次の講演会を実施し連携強化を図った。 【H25実績】「レビー小体型認知症 一発症や症状が特異な認知症について知る」 H25.10.30開催 日本海総合病院講堂 177名参加 ○日本海総合病院は、酒田地区医師会の後援のもと、地域の循環器診療のレベルアップ並びにチーム医療及び地域連携の充実を図るため、「循環器連携セミナー」を開催した。</p>	<p>◇庄内地域の他の医療機関等との連携強化を図ったか。</p>	<p>A ▽認知症疾患医療センターの役割に理解を得ることで、他の医療機関や関係機関との連携強化を図った。 ▽講演会又はセミナー等を通して、知識と情報の共有を図り、他の医療機関との連携強化を図った。</p>	<p>A 自己評価のとおり</p>
<p>・平成23年度から日本海総合病院内に開設された山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室について、継続して調査活動に協力する。</p>	<p>○平成23年度から日本海総合病院内に開設されている、山形大学医学部先端分子疫学研究所酒田分室について、継続して調査活動に協力した。</p>	<p>◇継続して調査活動に協力したか。</p>	<p>A ▽継続して、当該研究所酒田分室の設置及び調査活動に協力した。</p>	<p>A 自己評価のとおり</p>
<p>・日本海総合病院は、酒田市立看護専門学校の実習施設としての役割を担う。</p>	<p>○日本海総合病院は、酒田市立看護専門学校及びその他専門学校の実習施設としての役割を果たし、合計91名の看護学生を受入れた。</p>	<p>◇実習施設としての役割を果たしているか。</p>	<p>S ▽酒田市立看護専門学校の実習施設として、日本海総合病院の医師が講師を務めるとともに、その他の専門学校の学生を含め看護師が主体となって実習指導に務めた。</p>	<p>S 自己評価のとおり</p>
<p>・「山形県看護教員養成講習会」に看護師2名を派遣し、酒田市立看護専門学校の看護教員として育成する。</p>	<p>○「山形県看護教員養成講習会」に看護師2名を8ヶ月間派遣し、酒田市立看護専門学校の看護教員として育成した。</p>	<p>◇看護教員を養成し、看護学生の教育体制の充実を図っているか。</p>	<p>A ▽看護師2名を教員として養成し、1名は平成25年度から酒田市立看護専門学校に教員として異動させ、もう1名は日本海総合病院内で学生の指導にあたらせることとし、体制の充実を図った。</p>	<p>A 自己評価のとおり</p>
⑦ 住民の意識の啓発				
<p>・地域住民を対象としたセミナー、病院広報紙などの発行を積極的に行い、住民の医療や健康に対する意識の啓発に努める。</p>	<p>○地域住民を対象に市民公開講座を開催し、健康に対する意識の啓発活動を行った。 【H25実績】地域がん診療連携拠点病院 市民公開講座 「胃がん 最新の予防、診断、治療」 H25.9.21開催 ガーデンパレスみずほ 70名参加 ○患者、地域住民向け及び関係者向けに広報紙「あきほ」を年間4回発行し、病院機構の施設整備の状況や治療に関する情報等の発信を行った。</p>	<p>◇健康意識の向上のため、地域住民に対し、啓発活動又は情報発信を行ったか。</p>	<p>A ▽地域がん診療拠点病院として、がん治療に関する最新の情報を提供し、早期発見のための検診について啓発活動を行った。 ▽治療に関する情報だけでなく、健康を意識した食事のレシピを継続して紹介した。</p>	<p>A 自己評価のとおり</p>

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評価		委員会評価及び意見等	
			判定		判定	
・他の機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等への講師派遣についても積極的に行う。	○他の医療機関が行う地域の医療従事者や住民に対するセミナー等について、講師の派遣を積極的に行った。 【H25実績】第22回本間病院友の会 健康講演会「意外と知らない!? 救急医療の話」 H25.7.18開催 酒田市総合文化センター	◇他の機関が行ったセミナー等へ講師を派遣したか。	A	▽要請に応じて、地域住民向けの講演会に講師を派遣した。	A	自己評価のとおり
(3) 患者・住民サービスの一層の向上						
・日本海総合病院において、外来診療の待ち時間対策を検討する。	○日本海総合病院では待ち時間対策として、各診療科の予約枠の人数の見直し、検査説明コーナーの見直し、入院受付時間の患者配分の見直し及び持参薬確認業務について改善を行った。	◇調査結果を踏まえて、具体的な対策を講じたか。	A	▽外来診療までの待ち時間だけでなく、診察後の検査説明までの待ち時間、入院受付後の入室までの待ち時間など、様々な視点で改善を行った。	A	自己評価のとおり
・患者、利用者の意見・要望等を聞く投書箱を常設し、一層のサービス向上と業務改善に取組み、患者または住民本位のサービスの提供に努める。	○「患者の声」の院内掲示及び病院ボランティアとの意見交換を行い、患者及び住民の目線に立ったサービスの向上に取組んだ。	◇意見を踏まえて改善に取り組み、患者又は住民本位のサービスの提供に努めたか。	A	▽寄せられた「患者の声」及び病院ボランティアの意見を踏まえて改善に取り組み、患者又は住民本位のサービス提供に努めた。	A	自己評価のとおり
・ホームページの充実による病院情報の発信力の強化を図る。	○病院機構及び2病院のホームページにより、情報提供を行った。	◇患者、住民又は病院を利用する方々の目線に立った情報の発信を行ったか。	A	▽ホームページを活用して、各種セミナーの開催、修学資金貸与制度の案内、病院機構の運営に関することをはじめ、その他多彩な情報の発信に努めた。	A	自己評価のとおり
・日本海総合病院において、一部の外来診察室ドアを引戸へ改修し、及び待合ホールの床を補修する。	○日本海総合病院において、設備などの改修・補修を行い院内環境の整備を図った。 【H25実績】整備内容 1階外来東側待合ホール：床材の張替え 整形、形成外科及び皮膚科外来：引き戸 エントランスホール等：有機EL照明の設置 外来駐車場：障害者用駐車枠10台分増設	◇患者等に配慮した環境整備であったか。	A	▽車椅子の患者に配慮するなど、診察室周辺環境の整備を行った。	A	自己評価のとおり
・平成20年度から実施した重症心身障がい児(者)短期入所事業について、日本海総合病院の空床を利用したレスパイト入院を継続して実施する。	○日本海総合病院において、平成20年度から継続して重症心身障がい児(者)短期入所事業を行った。 【H25実績】延べ利用者数 14名 【H24実績】延べ利用者数 28名	◇継続して短期入所事業を行い、障がい児(者)の家族の負担軽減を図ったか。	A	▽庄内地方で唯一の施設であり、継続して事業を行い、障がい児(者)を持つ家族の負担軽減に資することができた。	A	自己評価のとおり
・酒田市からの受託事業である病児・病後児保育事業を、日本海総合病院院内保育所「あきほ保育園」(以下、「あきほ保育園」という。)において継続して行う。	○病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「あきほ保育園」において継続して当該事業を行った。 【H25実績】延べ利用者数 233名 うち市民の利用者数 129名 【H24実績】延べ利用者数 304名 うち市民の利用者数 219名	◇継続して病児・病後児事業を受託し、地域住民へのサービス提供を行ったか。	A	▽時期によって利用者数に変動があるものの、年間を通してサービスの提供を行った。	A	自己評価のとおり
・地域交流事業として病院祭「あきほ祭り」を開催する。また、病院内の敷地を地域の団体等に展示・即売施設用として開放し、地域密着型の親しみがあり信頼される病院づくりに努める。	○地域密着型で親しみがあり、信頼される病院づくりを目指し、地域交流事業として展示・即売施設「あきほ市」を5月から10月まで開催し、9月には病院祭「あきほ祭り」を開催した。	◇地域密着型で親しみがあり、信頼される病院づくりに取組んだか。	A	▽来院した患者や利用者へのサービスの提供だけでなく、出店団体が福祉事業者であることから、障がい者の雇用支援としても寄与した。	A	自己評価のとおり
	○院内感染予防対策及び入院患者のスキントラブル防止のため、CSセット(紙オムツの日額定額制サービス)を導入した。	◇患者又はその家族への、サービス向上が図られたか。	A	▽患者のスキントラブル防止の他、家族が紙おむつを準備する必要がなくなったため、家族の負担軽減が図られている。	A	自己評価のとおり
(4) 法令等の遵守と情報公開の推進						
・基本理念、倫理綱領及び病院運営方針を定め周知を図る。	○平成24年度に定めた基本理念等を、職員研修の場で周知を図るとともに、病院機構及び2病院のホームページを活用し、広く住民にもPRした。	◇基本理念等の周知を行ったか。	A	▽内外に広くPRし、「医療人」の育成及び患者や地域住民との信頼関係の構築に努めた。	A	自己評価のとおり
・医療情報のセキュリティ向上のため職員、委託職員を対象に院内研修を実施する。また、「ちようかいネット」を利用している医療機関等に対しても研修を実施する。	○e-ラーニング方式で、全職員及び総合医療情報システムを使用する委託職員を対象に情報セキュリティ研修を行った。対象者1,278名のうち、411名が受講した。 ○「ちようかいネット」を利用している医療機関等に対し、情報セキュリティ研修を行った。対象施設71施設のうち、10施設12名が受講した。	◇総合医療情報システムを使用する全職員に、研修を実施したか。 ◇「ちようかいネット」の利用者から、医療情報又は個人情報の取扱いにおける危険性について、理解を得ることができたか。	B	▽e-ラーニング方式としたことにより、効果的に研修を実施することができた。しかし、受講率が低かったため改善を必要とする。 ▽医療情報又は個人情報の取扱いにおける危険性を、利用している医師等から再認識していただいた。しかし、受講人数が少なかったため改善を必要とする。	B	自己評価のとおり 情報セキュリティの向上は非常に重要と認識し、職員等に対して啓発と研修に努められた。
・インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ・レセプト等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行う。	○インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行った。 【H25実績】診療情報提供申出件数 日本海総合病院 70件 酒田医療センター 2件 【H24実績】診療情報提供申出件数 日本海総合病院 49件 酒田医療センター 7件	◇情報開示請求等に、適切に対応したか。	A	▽県の機関に準じて、適切に対応した。	A	自己評価のとおり

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評価	判定	委員会評価及び意見等
(5) 医療安全対策の充実・強化						
・インシデントレポートの収集、分析及びリスク回避の方策について検討し、院内研修会や定期的な院内広報の発行などにより周知し、患者安全管理体制の推進・強化に努める。	○患者安全管理体制の推進・強化を図るため、医療安全対策委員会を中心に次のような活動を行った。 【H25実績】医療安全研修 ①「報告・連絡のためのSBAR」 H25.10.9開催 日本海総合病院講堂 105名参加 ②「各部署の取り組み発表」 H25.11.27開催 日本海総合病院講堂 81名参加 ○医療安全管理者を中心に速やかな情報の収集・発信・共有を図り、医療安全対策の一層の向上に取り組んだ。	◇医療安全対策委員会を中心とした活動により、管理体制の推進と強化が図られたか。 ◇医療安全管理者を中心に、医療安全対策の一層の向上が図られたか。	A	▽研修会や院内広報の発行など、積極的な情報発信を行い、医療安全の推進及び強化を図った。 ▽医療安全管理者を中心とした、医療安全対策委員会及びセーフティマネージャーが機能する体制の強化により、医療安全対策の一層の向上が図られた。	A	自己評価のとおり
2 人員配置の弾力的運用						
(1) 短時間正職員制度						
・医師確保及び定着化を図るため、短時間正職員制度を導入する。	○医師確保及び定着化を図るため、要綱に基づいて短時間正職員制度を導入した。 【H25実績】制度活用医師数 3名	◇短時間正職員制度を早期に制度化し、活用されたか。	S	▽医師短時間正職員制度に関する要綱を定め、平成25年4月1日から施行し、3人の医師が活用した。	S	自己評価のとおり
(2) 負担軽減						
・医師の負担軽減を図るため、医師事務作業補助者を活用する。	○医師の負担軽減を図るため、引続き各病棟などに医療クラークを配置した。 【H25実績】医療クラークの配置数 54名 【H24実績】医療クラークの配置数 59名	◇引続き医師事務作業補助者を配置したか。	A	▽医師事務作業補助者を効果的に配置して、引続き医師の負担軽減を図った。	A	自己評価のとおり
・看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を活用する。	○看護師の負担軽減を図るため、看護補助者及び事務補助者を配置した 【H25実績】看護補助者・事務補助者の配置数 看護補助者：病棟67名 その他20名 合計87名 事務補助者：病棟16名 その他11名 合計27名 【H24実績】看護補助者・事務補助者の配置数 看護補助者：病棟66名 その他18名 合計84名 事務補助者：病棟14名 その他 8名 合計22名	◇引続き看護補助者及び事務補助者を配置したか。	A	▽看護補助者及び事務補助者を増員して、看護師が本来の業務に専念できるよう負担軽減を図った。	A	自己評価のとおり
(3) 障がい者雇用						
・障害者雇用促進法に基づき、雇用率2.3%以上の確保に努め、障がい者の雇用促進及び職業安定に寄与し、その有効活用を行う。	○障害者雇用促進法に基づき、障がい者の雇用促進及び有効活用に努めた。雇用率は0.65%だった。	◇法定雇用率の達成に努めたか。	B	▽ハローワークを通して臨時職員を募集したが、応募が少なかったため、法定雇用率2.3%を達成することができなかった。	B	自己評価のとおり 病院としての特殊性、求人と雇用のバランスなど、やむを得ない事情も理解できる。
(4) その他						
	○雇用の安定と人材の確保を図ることを目的として、臨時職員の中で業務遂行能力が高く、長期就業意欲を有する者を、期限の定めのない雇用に転換する「スタッフ職員制度」を創設した。	◇雇用の安定と人材確保が図られたか。	S	▽当法人で2年以上の臨時職員としての経験があり、希望する者を対象に試験を実施し、正職員とほぼ同等の条件で採用することで、雇用の安定と人材確保を図った。	S	自己評価のとおり

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評価	委員会評価及び意見等
3 施設整備及び医療機器等の整備計画				
(1) 統合再編に係る施設整備				
酒田医療センターの増築・改修工事は、平成25年5月末に竣工予定である。	○平成23年3月から始まった酒田医療センターの増築・改修工事は、平成25年4月にエントランス棟が完成したことにより竣工した。	◇平成25年5月末までに、全ての増築・改修工事が完了したか。	A ▽平成25年4月に計画していた全ての増築・改修工事が完了し、同年5月1日に開所式を行った。	A 自己評価のとおり
(2) レジデントハウスの整備				
・研修環境整備の一環として、レジデントハウス（鉄筋コンクリート造、3階建て、30戸）を建設する。	○研修環境整備の一環として建設していたレジデントハウスは、平成25年7月に竣工した。 鉄筋コンクリート造、3階建て、30戸（平成26年3月現在、11戸入居）	◇当初の計画通りに建設し、研修環境の向上を図ることができたか。	A ▽計画通りに建設し、研修環境の向上を図ることができた。平成26年3月現在で、11人の研修医が入居していた。	A 自己評価のとおり
(3) 高度医療機器の計画的な更新・整備				
・高度専門医療等の充実のため、次のとおり高度医療機器の更新・整備を行う。	○高度専門医療等の充実のため、高度医療機器の更新・整備を行った。	◇ハイブリッド手術室の整備及び電子カルテの更新を行い、稼働させたか。	A ▽ハイブリッド手術室を整備し、平成25年8月から稼働させた。 ▽日本海総合病院においては、電子カルテの更新を行い、平成25年9月から稼働させた。 ▽酒田医療センターでは、新たに電子カルテを導入し、平成26年3月から稼働させた。	A 自己評価のとおり
・高度医療機器の更新・整備に当たっては、医療需要、医療技術の進展などを総合的に判断して進めるものとする。				

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画				平成25年度・年度実績				評価の視点			自己評定			委員会評定及び意見等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
4 患者数の見込みと収支計画											判定			判定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
(1) 患者数の見込み				(1) 患者数				◇計画していた患者数、収入等を確保することができたか。 ◇経常収支比率100%以上を達成し、かつ、平成21年度における全国の黒字病院の平均値である人件費比率49.2%、材料費比率27.6%以下を達成することができたか。			S			S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
(単位：人、%) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">平成25年度</th> <th colspan="3">平成24年度 (当初予算ベース)</th> </tr> <tr> <th>日本海</th> <th>酒田</th> <th>合計</th> <th>日本海</th> <th>酒田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>646</td> <td>114 (79)</td> <td>760</td> <td>646</td> <td>114</td> <td>760</td> </tr> <tr> <td>1日当たり</td> <td>545.0</td> <td>67.9</td> <td>612.9</td> <td>555.0</td> <td>68.4</td> <td>623.4</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>84.4</td> <td>59.6 (86.0)</td> <td>---</td> <td>85.9</td> <td>79.3</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1日当たり</td> <td>1,360.4</td> <td>3.2</td> <td>1,363.6</td> <td>1,414.0</td> <td>1.7</td> <td>1,415.7</td> </tr> </tbody> </table> ※ () 内は、運用病床数及びその病床利用率である。					平成25年度												平成24年度 (当初予算ベース)			日本海	酒田	合計	日本海	酒田	合計	入院							病床数	646	114 (79)	760	646	114	760	1日当たり	545.0	67.9	612.9	555.0	68.4	623.4	病床利用率	84.4	59.6 (86.0)	---	85.9	79.3	---	外来							1日当たり	1,360.4	3.2	1,363.6	1,414.0	1.7	1,415.7	(単位：円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">日本海総合病院</th> <th colspan="3">酒田医療センター</th> <th colspan="3">計</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>増減</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>増減</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延入院患者数(人)</td> <td>199,673</td> <td>192,641</td> <td>△7,032</td> <td>24,352</td> <td>24,996</td> <td>644</td> <td>224,025</td> <td>217,637</td> <td>△6,388</td> </tr> <tr> <td>実入院患者数(人)</td> <td>17,040</td> <td>16,735</td> <td>△305</td> <td>423</td> <td>477</td> <td>54</td> <td>17,463</td> <td>17,212</td> <td>△251</td> </tr> <tr> <td>入院/1日(人)</td> <td>547.0</td> <td>527.8</td> <td>△19.2</td> <td>66.7</td> <td>68.5</td> <td>1.8</td> <td>613.7</td> <td>596.3</td> <td>△17.4</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>84.7</td> <td>81.7</td> <td>△3.0</td> <td>77.4</td> <td>86.7</td> <td>9.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>病床回転率(%)</td> <td>260.0</td> <td>264.5</td> <td>4.5</td> <td>52.5</td> <td>58.6</td> <td>6.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>11.7</td> <td>11.5</td> <td>△0.2</td> <td>57.9</td> <td>51.9</td> <td>△6.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>延外来患者数(人)</td> <td>337,023</td> <td>337,904</td> <td>881</td> <td>588</td> <td>731</td> <td>143</td> <td>337,611</td> <td>338,635</td> <td>1,024</td> </tr> <tr> <td>新外来患者数(人)</td> <td>31,733</td> <td>32,017</td> <td>284</td> <td>42</td> <td>37</td> <td>△5</td> <td>31,775</td> <td>32,054</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>外来/1日(人)</td> <td>1,375.6</td> <td>1,384.9</td> <td>9.3</td> <td>2.4</td> <td>3.0</td> <td>0.6</td> <td>1,378.0</td> <td>1,387.9</td> <td>9.9</td> </tr> <tr> <td>病床数(床)</td> <td>646</td> <td>646</td> <td>0</td> <td>79</td> <td>79</td> <td>0</td> <td>725</td> <td>725</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> (2) 患者一人当たりの診療単価 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">日本海総合病院</th> <th colspan="3">酒田医療センター</th> </tr> <tr> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>増減</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>56,510</td> <td>59,510</td> <td>3,000</td> <td>21,347</td> <td>22,982</td> <td>1,635</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>11,741</td> <td>12,447</td> <td>706</td> <td>3,261</td> <td>3,448</td> <td>187</td> </tr> </tbody> </table>				区分	日本海総合病院			酒田医療センター			計			H24	H25	増減	H24	H25	増減	H24	H25	増減	延入院患者数(人)	199,673	192,641	△7,032	24,352	24,996	644	224,025	217,637	△6,388	実入院患者数(人)	17,040	16,735	△305	423	477	54	17,463	17,212	△251	入院/1日(人)	547.0	527.8	△19.2	66.7	68.5	1.8	613.7	596.3	△17.4	病床利用率(%)	84.7	81.7	△3.0	77.4	86.7	9.3	-	-	-	病床回転率(%)	260.0	264.5	4.5	52.5	58.6	6.1	-	-	-	平均在院日数(日)	11.7	11.5	△0.2	57.9	51.9	△6.0	-	-	-	延外来患者数(人)	337,023	337,904	881	588	731	143	337,611	338,635	1,024	新外来患者数(人)	31,733	32,017	284	42	37	△5	31,775	32,054	279	外来/1日(人)	1,375.6	1,384.9	9.3	2.4	3.0	0.6	1,378.0	1,387.9	9.9	病床数(床)	646	646	0	79	79	0	725	725	0	区分	日本海総合病院			酒田医療センター			H24	H25	増減	H24	H25	増減	入院	56,510	59,510	3,000	21,347	22,982	1,635	外来	11,741	12,447	706	3,261	3,448	187	(単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>20,811</td> <td>21,270</td> <td>459</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>16,964</td> <td>17,433</td> <td>469</td> </tr> <tr> <td> 医療収益</td> <td>16,343</td> <td>16,842</td> <td>499</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>621</td> <td>591</td> <td>△30</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,080</td> <td>1,095</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金等</td> <td>919</td> <td>907</td> <td>△12</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>161</td> <td>188</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>2,715</td> <td>2,674</td> <td>△41</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金等</td> <td>1,205</td> <td>128</td> <td>△1,077</td> </tr> <tr> <td> 金銭出資の受入</td> <td>-</td> <td>1,077</td> <td>1,077</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,510</td> <td>1,459</td> <td>△51</td> </tr> <tr> <td> その他(補助金等)</td> <td>-</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>52</td> <td>68</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> (3) 予算及び決算 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td>19,116</td> <td>19,807</td> <td>691</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>14,601</td> <td>15,602</td> <td>1,001</td> </tr> <tr> <td> 医療費用</td> <td>14,428</td> <td>15,442</td> <td>1,014</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>7,511</td> <td>8,232</td> <td>721</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>3,947</td> <td>4,305</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,872</td> <td>2,831</td> <td>△41</td> </tr> <tr> <td> 資産減耗費</td> <td>4</td> <td>-</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>94</td> <td>74</td> <td>△20</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>173</td> <td>160</td> <td>△13</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>640</td> <td>403</td> <td>△237</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>3,795</td> <td>3,708</td> <td>△87</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>2,086</td> <td>2,000</td> <td>△86</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返還金</td> <td>1,708</td> <td>1,708</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>その他の費用</td> <td>80</td> <td>94</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>			区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)	収入	20,811	21,270	459	営業収益	16,964	17,433	469	医療収益	16,343	16,842	499	運営費負担金	621	591	△30	営業外収益	1,080	1,095	15	運営費負担金等	919	907	△12	その他	161	188	27	資本収入	2,715	2,674	△41	運営費負担金等	1,205	128	△1,077	金銭出資の受入	-	1,077	1,077	長期借入金	1,510	1,459	△51	その他(補助金等)	-	10	10	その他の収入	52	68	16	区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)	支出	19,116	19,807	691	営業費用	14,601	15,602	1,001	医療費用	14,428	15,442	1,014	給与費	7,511	8,232	721	材料費	3,947	4,305	358	経費	2,872	2,831	△41	資産減耗費	4	-	△4	研究研修費	94	74	△20	一般管理費	173	160	△13	営業外費用	640	403	△237	資本支出	3,795	3,708	△87	建設改良費	2,086	2,000	△86	長期借入金返還金	1,708	1,708
	平成25年度				平成24年度 (当初予算ベース)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	日本海	酒田	合計	日本海	酒田	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
入院																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
病床数	646	114 (79)	760	646	114	760																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1日当たり	545.0	67.9	612.9	555.0	68.4	623.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
病床利用率	84.4	59.6 (86.0)	---	85.9	79.3	---																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
外来																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
1日当たり	1,360.4	3.2	1,363.6	1,414.0	1.7	1,415.7																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
区分	日本海総合病院			酒田医療センター			計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	H24	H25	増減	H24	H25	増減	H24	H25	増減																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
延入院患者数(人)	199,673	192,641	△7,032	24,352	24,996	644	224,025	217,637	△6,388																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
実入院患者数(人)	17,040	16,735	△305	423	477	54	17,463	17,212	△251																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
入院/1日(人)	547.0	527.8	△19.2	66.7	68.5	1.8	613.7	596.3	△17.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
病床利用率(%)	84.7	81.7	△3.0	77.4	86.7	9.3	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
病床回転率(%)	260.0	264.5	4.5	52.5	58.6	6.1	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
平均在院日数(日)	11.7	11.5	△0.2	57.9	51.9	△6.0	-	-	-																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
延外来患者数(人)	337,023	337,904	881	588	731	143	337,611	338,635	1,024																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
新外来患者数(人)	31,733	32,017	284	42	37	△5	31,775	32,054	279																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
外来/1日(人)	1,375.6	1,384.9	9.3	2.4	3.0	0.6	1,378.0	1,387.9	9.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
病床数(床)	646	646	0	79	79	0	725	725	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
区分	日本海総合病院			酒田医療センター																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
	H24	H25	増減	H24	H25	増減																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
入院	56,510	59,510	3,000	21,347	22,982	1,635																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
外来	11,741	12,447	706	3,261	3,448	187																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	収入	20,811	21,270	459																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
営業収益	16,964	17,433	469																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
医療収益	16,343	16,842	499																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
運営費負担金	621	591	△30																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
営業外収益	1,080	1,095	15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
運営費負担金等	919	907	△12																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	161	188	27																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
資本収入	2,715	2,674	△41																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
運営費負担金等	1,205	128	△1,077																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
金銭出資の受入	-	1,077	1,077																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
長期借入金	1,510	1,459	△51																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他(補助金等)	-	10	10																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他の収入	52	68	16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
区分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	支出	19,116	19,807	691																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
営業費用	14,601	15,602	1,001																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
医療費用	14,428	15,442	1,014																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
給与費	7,511	8,232	721																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材料費	3,947	4,305	358																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
経費	2,872	2,831	△41																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
資産減耗費	4	-	△4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
研究研修費	94	74	△20																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
一般管理費	173	160	△13																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
営業外費用	640	403	△237																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
資本支出	3,795	3,708	△87																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
建設改良費	2,086	2,000	△86																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
長期借入金返還金	1,708	1,708	0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	1	-	△1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他の費用	80	94	14																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
(2) 予算(平成25年度)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
(単位：百万円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日本海</th> <th>酒田</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>19,905</td> <td>906</td> <td>20,811</td> </tr> <tr> <td> 営業収益</td> <td>16,385</td> <td>579</td> <td>16,964</td> </tr> <tr> <td> 医療収益</td> <td>15,783</td> <td>560</td> <td>16,343</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>602</td> <td>19</td> <td>621</td> </tr> <tr> <td> 営業外収益</td> <td>1,004</td> <td>76</td> <td>1,080</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金等</td> <td>848</td> <td>71</td> <td>919</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>156</td> <td>5</td> <td>161</td> </tr> <tr> <td> 資本収入</td> <td>2,485</td> <td>230</td> <td>2,715</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>985</td> <td>220</td> <td>1,205</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>1,500</td> <td>10</td> <td>1,510</td> </tr> <tr> <td> その他の収入</td> <td>31</td> <td>21</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>17,932</td> <td>1,184</td> <td>19,116</td> </tr> <tr> <td> 営業費用</td> <td>13,746</td> <td>855</td> <td>14,601</td> </tr> <tr> <td> 医療費用</td> <td>13,573</td> <td>855</td> <td>14,428</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>6,982</td> <td>529</td> <td>7,511</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>3,927</td> <td>20</td> <td>3,947</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>2,574</td> <td>298</td> <td>2,872</td> </tr> <tr> <td> 資産減耗費</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> 研究研修費</td> <td>86</td> <td>8</td> <td>94</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>173</td> <td>-</td> <td>173</td> </tr> <tr> <td> 営業外費用</td> <td>620</td> <td>20</td> <td>640</td> </tr> <tr> <td> 資本支出</td> <td>3,507</td> <td>288</td> <td>3,795</td> </tr> <tr> <td> 建設改良費</td> <td>1,884</td> <td>202</td> <td>2,086</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金返還金</td> <td>1,622</td> <td>86</td> <td>1,708</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>1</td> <td>-</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> その他の支出</td> <td>59</td> <td>21</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>				区分	日本海	酒田	合計	収入	19,905	906	20,811	営業収益	16,385	579	16,964	医療収益	15,783	560	16,343	運営費負担金	602	19	621	営業外収益	1,004	76	1,080	運営費負担金等	848	71	919	その他	156	5	161	資本収入	2,485	230	2,715	運営費負担金	985	220	1,205	長期借入金	1,500	10	1,510	その他の収入	31	21	52	支出	17,932	1,184	19,116	営業費用	13,746	855	14,601	医療費用	13,573	855	14,428	給与費	6,982	529	7,511	材料費	3,927	20	3,947	経費	2,574	298	2,872	資産減耗費	4	0	4	研究研修費	86	8	94	一般管理費	173	-	173	営業外費用	620	20	640	資本支出	3,507	288	3,795	建設改良費	1,884	202	2,086	長期借入金返還金	1,622	86	1,708	その他	1	-	1	その他の支出	59	21	80																																																																																																																																																																																																																												
区分	日本海	酒田	合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
収入	19,905	906	20,811																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
営業収益	16,385	579	16,964																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
医療収益	15,783	560	16,343																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
運営費負担金	602	19	621																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
営業外収益	1,004	76	1,080																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
運営費負担金等	848	71	919																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	156	5	161																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
資本収入	2,485	230	2,715																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
運営費負担金	985	220	1,205																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
長期借入金	1,500	10	1,510																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他の収入	31	21	52																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
支出	17,932	1,184	19,116																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
営業費用	13,746	855	14,601																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
医療費用	13,573	855	14,428																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
給与費	6,982	529	7,511																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
材料費	3,927	20	3,947																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
経費	2,574	298	2,872																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
資産減耗費	4	0	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
研究研修費	86	8	94																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
一般管理費	173	-	173																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
営業外費用	620	20	640																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
資本支出	3,507	288	3,795																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
建設改良費	1,884	202	2,086																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
長期借入金返還金	1,622	86	1,708																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他	1	-	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
その他の支出	59	21	80																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画				平成25年度・年度実績				評価の視点		自己評定		委員会評定及び意見等	
(3) 収支計画 (平成25年度)				(4) 収支計画									
(単位:百万円)				(単位:百万円)									
区 分	日本海	酒 田	合 計	区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)						
収入の部				収入									
営業収益	17,482	678	18,160	収入	18,160	18,605	445						
営業収益	16,447	580	17,027	営業収益	17,027	17,447	420						
医業収益	15,783	560	16,343	医業収益	16,343	16,822	479						
運営費負担金収益	602	19	621	運営費負担金収益	621	591	△30						
資産見返運営費負担金戻入	62	1	63	資産見返運営費負担金戻入	63	34	△29						
営業外収益	1,004	76	1,080	営業外収益	1,080	1,090	10						
運営費負担金収益	848	71	919	運営費負担金収益	919	907	△12						
その他医業外収益	156	5	161	その他医業外収益	161	183	22						
その他の収入	31	22	53	その他の収入	53	68	15						
支出の部				支出									
営業費用	17,044	1,107	18,151	支出	18,151	17,953	△198						
営業費用	16,093	1,052	17,145	営業費用	17,145	16,871	△274						
医業費用	15,920	1,052	16,972	医業費用	16,972	16,716	△256						
一般管理費	173	-	173	一般管理費	173	155	△18						
営業外費用	710	30	740	営業外費用	740	818	78						
その他の費用	241	25	266	その他の費用	266	264	△2						
純利益	438	▲429	9	純利益	9	652	643						
目的積立金取崩額	-	-	-										
総利益	438	▲429	9										
(4) 資金計画 (平成25年度)				(5) 資金計画									
(単位:百万円)				(単位:百万円)									
区 分	日本海	酒 田	合 計	区 分	予算額 (当初)	決算額	差額 (決算-予算)						
資金収入				資金収入									
資金収入	22,786	2,564	25,350	資金収入	25,350	36,423	11,073						
業務活動による収入	17,419	676	18,095	業務活動による収入	18,095	18,518	423						
診療業務による収入	15,783	560	16,343	診療業務による収入	16,343	16,807	464						
運営費負担金による収入	1,450	90	1,540	運営費負担金による収入	1,540	1,499	△41						
その他の業務活動による収入	186	26	212	補助金等収入	-	37	37						
投資活動による収入	985	220	1,205	その他の業務活動による収入	212	175	△37						
運営費負担金による収入	985	220	1,205	投資活動による収入	1,205	10,654	9,449						
その他の投資活動による収入	-	-	-	運営費負担金による収入	1,205	149	△1,056						
財務活動による収入	1,500	10	1,510	有価証券の売却による収入	-	10,500	10,500						
長期借入による収入	1,500	10	1,510	その他の投資活動による収入	-	5	5						
その他の財務活動による収入	-	-	-	財務活動による収入	1,510	2,536	1,026						
前年度からの繰越金	2,882	1,658	4,540	長期借入による収入	1,510	1,459	△51						
資金支出	18,417	1,242	19,659	金銭出資の受入による収入	-	1,077	1,077						
業務活動による支出	14,910	954	15,864	前年度からの繰越金	4,540	4,715	175						
給与費支出	7,526	587	8,113	資金支出	19,659	32,103	12,444						
材料費支出	3,927	20	3,947	業務活動による支出	15,864	16,322	458						
その他の業務活動による支出	3,457	347	3,804	給与費支出	8,113	8,395	282						
投資活動による支出	1,885	202	2,087	材料費支出	3,947	4,233	286						
有形固定資産の取得による支出	1,884	202	2,086	その他の業務活動による支出	3,804	3,694	△110						
その他の投資活動による支出	1	-	1	投資活動による支出	2,087	14,069	11,982						
財務活動による支出	1,622	86	1,708	有形固定資産の取得による支出	2,086	1,869	△217						
長期借入の償還による支出	531	1	532	有価証券の取得による支出	-	12,200	12,200						
移行前地方債償還債務の償還による支出	1,091	85	1,176	その他	1	-	△1						
その他の財務活動による支出	-	-	-	財務活動による支出	1,708	1,712	4						
翌年度への繰越金	4,369	1,322	5,691	長期借入の償還による支出	532	532	0						
				移行前地方債償還債務等の償還による支出	1,176	1,176	0						
				その他の財務活動による支出	-	4	4						
				翌年度への繰越金	5,691	4,320	△1,371						

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成25年度・年度計画	平成25年度・年度実績	評価の視点	自己評価		委員会評価及び意見等
			判定		
5 その他業務運営に関する事項					
(1) 就労環境の整備					
・「あきほ保育園」は、通年で24時間保育を行う。	○「あきほ保育園」では、年末・年始の休所日を除いて、24時間保育を実施した。	◇24時間保育の実施など、職員の就労環境の向上に取り組んだか。	A	▽年末・年始の休所日を除き、24時間保育を実施し、職員の就労環境向上に取り組んだ。	A 自己評価のとおり職員が安心して働けるよう、年末、年始の保育についても検討されたい。
・「あきほ保育園」は病児・病後児保育を継続し、職員の子育て支援を行う。	○病児・病後児保育を引続き酒田市から受託し、当該事業を活用し職員の子育て支援を行った。 【H25実績】病児・病後児保育事業 延べ利用者数233名、うち職員利用者数104名 【H24実績】病児・病後児保育事業 延べ利用者数304名、うち職員利用者数85名	◇職員の利用割合が増加したか。	A	▽病児・病後児保育を継続して実施し、職員による利用割合が増加したことから、就労環境の向上が図られている。	A 自己評価のとおり
・電子カルテ更新にともない、効率的に作業が行えるようナースステーション内の環境整備を図る。	○病棟看護師の作業効率を改善するため、電子カルテ端末（ノートPC）の増設、ナースカート等の整備を行った。	◇環境整備を行うことで、作業効率が改善したか。	A	▽病棟看護師1人につき、1台の電子カルテ端末を配備したため、大幅に作業効率が改善した。	A 自己評価のとおり
(2) 人間ドック機能の見直し					
・公益財団法人やまがた健康推進機構と連携し、日本海総合病院において「心臓ドック」（仮称）の導入を図る。	○日本海総合病院において、「心臓ドック」（仮称）の導入を検討した。	◇「心臓ドック」（仮称）の導入を検討したか。	B	▽「心臓ドック」導入の検討を行ったが、現時点での実施は困難であり、継続して取り組む課題とした。	B 自己評価のとおり
・酒田地区医師会と連携し、地域の検診体制の強化を図る。	○酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構と役割分担を行いながら、連携して地域住民の検診を行った。 ○日本海総合病院では、酒田市が実施する「内視鏡ドック」のうち上・下部内視鏡、胸部CTを担った。 【H25実績】各検査の件数 上部内視鏡 143件 下部内視鏡 143件 胸部CT 143件 【H24実績】各検査の件数 上部内視鏡 138件 下部内視鏡 138件 胸部CT 139件	◇検診体制の確立が図られているか。	A	▽平成24年度に日本海総合病院で人間ドックを休止して以後、酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構を主体として、地域の検診体制の確立が図られてきた。日本海総合病院では、主に二次検診及び酒田市の「内視鏡ドック」を担当し、地域で役割分担がなされている。	A 自己評価のとおり
(3) 地球環境にやさしい病院づくり					
・日本海総合病院において、新棟を除く既存棟の蛍光灯をLED照明に交換する。	○日本海総合病院において、新棟を除く既存棟の蛍光灯2,000本をLED照明に交換した。	◇LED照明への交換を推進したか。	A	▽既存棟の蛍光灯の大部分を、LED照明に交換した。CO2排出削減など、地球環境に配慮している。	A 自己評価のとおり
(4) 酒田市飛鳥診療所への支援					
・平成24年度から常勤医師が不在となっている酒田市飛鳥診療所（以下「飛鳥診療所」という。）について、酒田市が医師を確保するまでの間、日本海総合病院の医師が4～10月において週に1回、飛鳥診療所で支援を行う。	○常勤医師が不在となっていた酒田市飛鳥診療所（以下、「飛鳥診療所」という。）について、酒田市が医師を確保するまでの4月から8月までの間、日本海総合病院の医師が週に1回、飛鳥診療所で診察を行った。	◇酒田市との協定に基づき、日本海総合病院の医師が飛鳥診療所で診察を行ったか。	S	▽日本海総合病院の医師が、毎週金曜日の午後及び土曜日の午前中に、飛鳥診療所で診察を行った。	S 自己評価のとおり
・日本海総合病院は、救急患者対応として遠隔診療システム等を利用し、飛鳥診療所を支援する。	○日本海総合病院は、飛鳥診療所の救急患者対応を支援し、5名の患者をドクターヘリで受入れた。 ○日本海総合病院は、飛鳥診療所の通院患者について、引続き検体検査を受託した。	◇救急患者が発生したとき、適切な対応がなされたか。 ◇検体検査を受託し、支援を継続したか。	S	▽常勤医師が不在だった8月までにドクターヘリでの搬送が4件、9月に医師が着任して以後も1件の搬送があり、飛鳥診療所への支援及び救急患者の対応を行った。 ▽統合再編時から、継続して検体検査を受託してきた。	S 自己評価のとおり
(5) その他					
・第10回日本医療マネジメント学会山形県支部学術集会を開催し、他の病院と情報交換を行い、地域連携の一層の強化を図る。	○第10回日本医療マネジメント学会山形県支部学術集会を平成25年7月20日に開催し、医師をはじめ103名の医療従事者の参加があった。他の病院又は医療受持者と情報交換を行い、地域連携の一層の強化を図った。	◇日本医療マネジメント学会山形県支部学術集会を開催し、地域連携の強化を図ることができたか。	A	▽学術集会を通して、県内の医療従事者と情報交換を行うことで、相互理解と連携の強化が図られた。	A 自己評価のとおり
	○看護師又は助産師を目指す学生を支援するため、看護師等修学資金貸与制度を創設した。	◇将来、地域の医療を担い、地域医療に貢献する人材を育成する制度か。	S	▽学生の経済的不安が取除かれ、学業に専念することができ、将来、地域医療に貢献する優秀な人材を育成する制度である。	S 自己評価のとおり